

# 2019年度自治会防災について

自治会長 栗原廣之



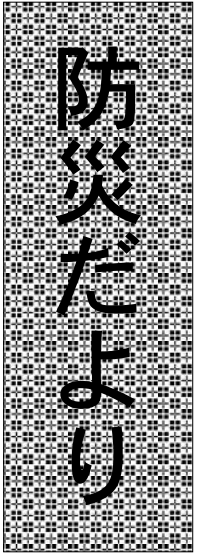
D I G 研修風景のイメージ写真

4月14日、2019年度自治会総会が無事終了しました。私たち新役員は一步一步、業務を始めます。

私は、昨年通算三回の家庭防災員研修会に参加しました。その中で、「災害図上訓練DIG(災害:Disaster)(想像力:Imagination)(ゲーム:Game)」を経験しました。DIGとは「大きな地図を参加者全員で囲み、災害のイメージトレーニングをしてみる」という内容です。みんなが一緒になって対応策を考え、ゲーム感覚で気軽に行うという、災害対応のトレーニングで、その必要性を強く感じました。

東海型関東地震(震度6弱~7)では、避難者は44,565人、焼失家屋は2,738棟、死者160人、また、南海トラフ巨大地震(震度5弱~6弱)においては、避難者11,837人、焼失家屋・死者は無しですが負傷者は170人です。行政は、「行政依存の防災では被害を減らせないとダメだしされています。

自治会として「向こう三軒両隣」の助け合いが必要となるのではないのでしょうか。今年一年、防災VGのみなさんと一緒に、「自助力」アップを図りつつ、楽しい自治会活動を目指します。



防災だより

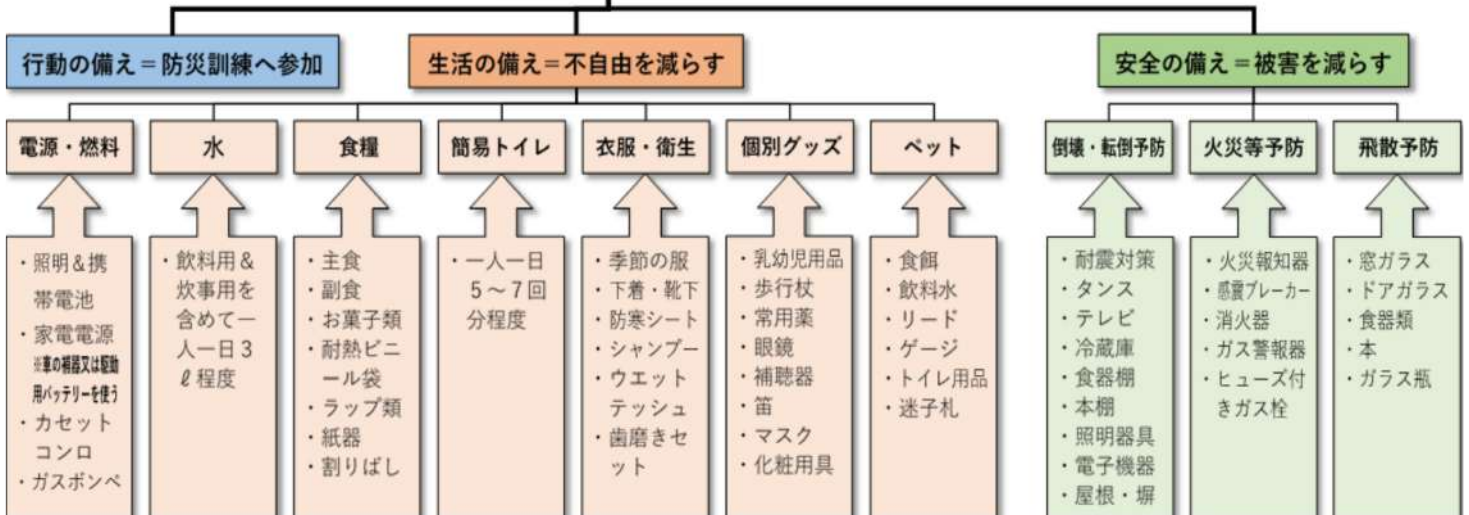
関ヶ谷自治会防災部  
防災ボランティアグループ 発行

## 防災から減災へ。減災の基本は「自助力=自分の命は自分で守る」

「減災」とは、「災害の被災を最小にすると同時に、災害後の生活をライフラインの復旧まで極力不自由なく過ごせるように事前の備えをすること」です。

### 減災の備え

※「防災グッズを備えよう」+「発災時の避難行動詳細」参照  
※2016年版自治会会員名簿70ページ以降参照



- S. 自宅避難が原則。できない場合は「西金沢学園地域防災拠点」へ避難する
- S. 備えは7日間分(最低3日間分)以上を用意する
- S. 備蓄品はなるべく1か所にまとめて保管する
- S. 「防災グッズを備えよう」を基に最低でも年間二回は備えの点検をする
- S. 食料品類・水はローリングストック(備える⇒食べる⇒買い足す)で賞味期限切れを無くし、非常時の調理方法に慣れる

## 防災VG懇親会

### 開催のお知らせ

3回目になる防災VG懇親会が下記の通り開催されます。今回は、防災VGとして自助力の啓発と防災VGの広報活動等を兼ねて納涼大会に出店を計画です。

出店は、飲食物を販売する予定で、懇親会で試食をいたします。試食(アルコール類もあり)をしながら大いに交流を深めていただき、防災・減災活動の情報交換の場にしていただければ幸いです。



一記一  
☆日時: 7月20日(土)  
11:30~  
☆会場: 関ヶ谷自治会館  
会議室  
☆会費: 1,300円

### クイズを楽しもう

問題: 半分破れたお札を銀行へ持って行く  
A: 半額返ってくる B: 全額返ってくる

(答えはうら面にあります)

## 2019年度「援護希望者宅訪問」の報告

昨年11月実施した新しい「援護希望者アンケート」リストに基づき、本年4月上・中旬に家庭訪問を行いました。その際の状況等について報告します。

訪問した件数(お会いできた件数、お留守の件数)は下表の通りです。登録後に抹消が6件ありました。理由は①施設入居、②転居、③死亡等です。

グループ	訪問者名 (民生委員・防災VGグループ長)	援護希望者登録数	会えた方	留守
1G	戸次明子・小澤誠一	60戸(84人)	47戸(69人)	13戸(15人)
2G	大橋ひろみ・小松勝子	44戸(59人)	36戸(46人)	8戸(13人)
3G	大島房子・武居晋亮	58戸(77人)	31戸(44人)	27戸(33人)
	計	162戸(220人)	114戸(159人)	48戸(61人)

### ☆お会いできた方のコメント:

- ①年々衰えを強く感じるようになっており、いざという時の支援を頼まれた。
- ②家族がいるが、日中一人なので何かが起こった時が心配。
- ③普段は元気で過ごしているが、高齢のため災害発生時は援護をよろしくと訴えられた。
- ④健康に気をつけリハビリやデイサービスに通ったり、近隣の方とよくおしゃべり等をして前向きに過ごされている方も散見された。

### ☆今回、訪問して感じたこと:

- ①民生委員の平素の活動が援護希望者から高く評価され頼りにされている。
- ②独居者、日中のみ独居や高齢夫婦のみのお宅が増えており皆さんが不安を感じて居られ、常日頃「向こう三軒両隣」の見守りが重要。
- ③高齢でお元気な方でも外へ出かけることが困難な方、玄関へ出てこれずインターホンでの対応の方、認知症の方等、ヘルパーさんの協力等を得て厳しい日々を送られている方が増えている。
- ④年々高齢化が進む中、援護希望者の増加、VGメンバーの減少する状況下で私たちVGがどこまでフォロー出来るか不透明であるが、VGメンバーと班長、地区長との連携、協力関係の推進及び、班を構成する住民の皆さんとの連携、協力が益々重要である。

### 納涼大会に出店!

防災ボランティア・グループは、2019年関ヶ谷自治会納涼大会に出店します。相模トラフでは、この先30年以内にM7程度の地震発生の確率が70%と、かなり高くなっていて、減災力を高めることが急務となっています。

そこで、納涼大会に来場される方々に、減災力の原点である「自助力」を啓発する広報活動を計画しています。

例えば、カーバッテリーを使って家電を稼働させたり、ビニール袋で煮炊きをしたり、災害時に役立つ情報提供を検討しています。当然、飲食の販売も計画中で、今メニューを喧々譁々検討しています。楽しみにしてください。



### 日本海溝及び相模トラフにおけるM7級地震発生確率が公表される

政府の地震調査委員会は、東北地方太平洋沖地震の震源域を含む日本海溝沿いで今後30年以内に地震が発生する確率を公表しました。

岩手県沖南部～茨城県沖を発生場所とする東北地方太平洋沖型のM9級の超巨大地震の発生確率は「ほぼ0%」でしたが、M7級のプレート間地震が発生する確率は、

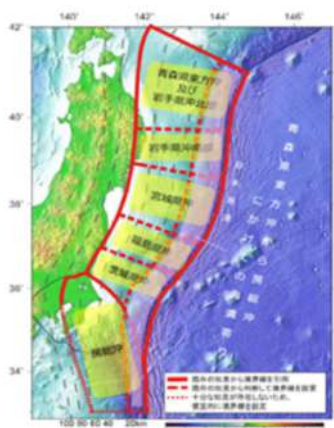
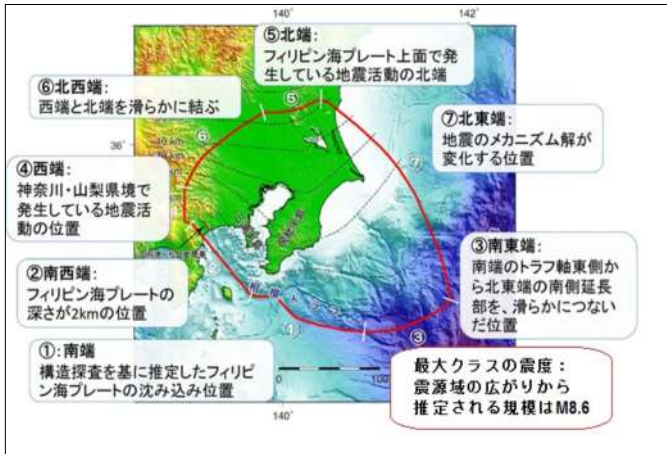
✓「青森県東方沖及び岩手県沖北部」(M7.0～7.5程度)⇒90%以上

✓「宮城県沖」(M7.0～7.5程度)⇒90%程度

✓「茨城県沖」(M7.0～7.5程度)⇒80%程度

✓「相模トラフ」(相模湾から房総半島の南東沖でM6.7-7.3程度)⇒70%程度(※プレートの沈み込みに伴う)の地震などと高い評価をしています。

今回、発表した「日本海溝沿いの地震活動の長期評価」は、2011年11月に「三陸沖から房総沖にかけての地震活動の長期評価(第二版)」として発表したものを、その後の新しい科学的知見などを取り込んで再評価したものです。



防災グッズの準備は万全?

#### クイズの答

正解はA。半額だけ戻ってきます。少しぐらいの破れなら、そのまま使うことができますが、大きく破れて片方を失った場合でも、3分の2以上残っていれば日本銀行またはお近くの銀行できれいなお札に交換してくれるそうです。シュレッダーで裁断されたお札は日本銀行で鑑定を受ける必要があるとのことです。

(問題はおもて面にあります)

### 災害時給電車募集

### 「災害時給電OK」のステッカー

最近の諸報道によると、停電が1週間程度にもおよぶ災害がいつ起こるか分からないことを覚悟しなければならぬようです。強力な情報収集・外部との連絡手段であるスマホも1日で使えなくなります。

こうした災害時の電源の一つとして「自動車のバッテリー」が有効です。特に、EV(電気自動車)やPHV(プラグインハイブリッド車)は、大容量(一般家庭の消費電力5日分程度賄える)の駆動用バッテリーを搭載しています。ご近所にこのような車があれば心強いですよ。

このような車を所有しているご家庭ではPC・TVはもちろん冷蔵庫やエアコンなどを不自由なく使えるはずですが、非常時にはこのご家庭に駆け込めば、諸情報を教えていただくことや、スマホの充電や医療機器の稼働等が可能です。

そこで、我が家の車は「災害時給電OK」ですよ、と手を挙げていただく方を募ります。申し出をお待ちします。

申し出受付 情通電チームリーダー 荒木健治(045-782-4286)

#### 【災害時給電OKステッカー(見本)】



### スキルチームの今後の活動

- ・**防災資機材チーム**  
定期的な棚卸点検及び稼働確認、自治会防災訓練サポート
- ・**食料物資チーム**  
自主活動部と連携した非常食体験コラボ、防災VG懇親会開催、地域防災拠点訓練に非常食作り協力
- ・**防火チーム**  
年間3回程度スタンドパイプ放水訓練
- ・**情・通・電チーム**  
模擬店照明サポート、地域防災拠点訓練サポート
- ・**医療・介護チーム**  
救急箱の点検・入れ替え、AEDの使い方訓練、災害時初期行動応急処置方法等の講習受講

### 備えあれば憂いなし!

自治会主催の防災訓練に積極的に参加しましょう

9月には当自治会の、12月には3自治会(町内会)共同の防災訓練が実施されます。日ごろから防災意識を高め、いざという時に落ち着いた行動ができるように、訓練に参加してください。

訓練は、住民の安否確認、避難場所への誘導、災害時用備蓄品の点検と住民への案内、防災グッズの紹介、生き抜くための食事法や電源確保の方法のデモンストラーションが実施されます。

